

匿名希望

D：福島県会津東山温泉コース

最初に校友会の会報の中に東北応援ツアーの募集があり、4つのコースの中の福島・会津方面を選択しました。その動機は、福島県は私自身、訪れたことがないこと、それとこの地方は福島県の内陸部にあり、福島第一原発から、かなり距離があることで、自分でこの範囲だったら放射線の影響がないであろうという偏見があり、あとになってこのことが福島の方々に対して大変、失礼千万な思い、無知な自分自身であることに気がつきました。もう一人の自分は社会貢献したいという心です。社会貢献したいといっても、自分に出来ることは、せいぜい、その地域の商品を購入して、金銭を使用するぐらいしか出来ないこと。2日間の行程の中で、特に会津活・活自然村に訪れたときが、印象深く残っています。福島県校友会の馬場副会長様によると子供の流出が激しく、福島県産を口にしないというし、福島県産を口にしない、まさに風評被害である。この東日本大震災は地震・津波・原発事故による放射線漏れという三重苦で、まるでヘレンケラーみたいなようである。この三重苦に関して、バスガイドの方も力説されておりました。阪神・淡路大震災とは違った様相が東北地方で起きているのである。この自然災害が起きたことは、仕方がないかもしれないが、今に問題になっているのは後始末の問題である。後始末に関して、複雑多岐にわたるので、私自身も語る事が出来ませが、この風評被害に関しては、以外と人間社会にあるということである。（これはツアーに参加された校友の方、現地の方の話を総括しましたら、この意見になるように思う。）人間は立場上、役割葛藤（ドナルド・E・スーパー）によりストレス源により、悩むところです。